

進路ニュース 5



2023.10.4 No.5

井草高校 進路指導部 文責 中村哲

<いよいよ入試シーズン開幕です>

井草祭も終わり、残暑厳しい9月も終わり、秋の入り口の10月になりました。

1, 2年生は気がつかなかったかもしれませんが、9月は、指定校推薦や共通テスト（旧センター試験）の出願といった、3年生の進路関係の重大な部分も進行していました。中には総合型選抜（旧AO入試）の出願に向けてがんばっている人もいました。秋は、3年生の進路関係が本格的に始まる時期でもあるのです。

◎指定校推薦の結果

今年の指定校推薦の被推薦者（校内選考通過者）は**23名**で、全て大学でした（昨年は**21名**（大学**19名**、専門学校**2名**）でした）。指定校推薦で決まった大学ごとの人数は次の通りです。

東京理科3	学習院3	明治1	青山学院1	立教3	中央1	法政1
成蹊1	武蔵1	武蔵野1	日本女子1	東京女子1	東京農業1	東京電機1
東京薬科1	東京家政2					

指定校推薦は、合格がほぼ約束されていますが、それでも時々不合格が出ることがあります。私も進路の仕事に就いてから2度ほど話を聞いたことがあります。どちらの場合も、その大学のその学部・学科の人気の急に出て、大学側が想定していた受験者数を大きく上回る人数が出願したため、定員などの兼ね合いから不合格者を出さざるを得なかったというパターンでした。指定校推薦が決まった人は、これまで素晴らしい努力をしてきたわけですが、そういう事態が起こっても、揺るがずに合格を勝ち取れるよう、引き続きがんばっていきましょう。そして、高校生活の最後まで、さらには大学に入学してからも、素晴らしい姿を見せ続けましょう。

◎共通テスト出願

今年の共通テストの出願者は**245名**（**91%**）（昨年は**252名**、**93%**）でした。

共通テストは、全国の大学受験者のほとんどが受験するテストですが、今年の1月に行われた共通テストも**51万人**以上が出願しました。国公立大学の場合は、1次試験として5教科（新カリでは情報が加わるので6教科）受験しなくては行けませんし、私立大学の場合も、共通テストの得点で合否が決まる共通テスト利用型入試や、早稲田や青山学院などで実施している大学の独自試験に共通テストの得点を加えて合否を決める方式など、共通テストをフル活用して入試を実施しています。

そういうこともあって受験生のほとんどが共通テストを受験するわけですが、共通テストは井草生なら満点を狙えるテストです。全科目満点というのは難しいかもしれませんが、昨年も、リーディング、リスニング、物理で満点を取った井草生がいましたし、世界史B**97点**、日本史B**93点**、国語**192点**のように満点に近い人も多くいました（現代文や古文が満点という人もいました）。私立大学の共通テスト利用型入試では、得点の合計が満点の8割を超えると、MARCHでも合格の可能性が高くなります。挑戦のしがいのあるテストですので、前向きに取り組みましょう。指定校推薦が決まった人も、実力養成のために共通テストの受験を求めています、ぜひとも最後の花を飾ってほしいと思います。

★隠れている可能性！

私の前任校は、高校入試時の偏差値が井草とほとんど同じレベルの高校だったのですが、井草に転勤して最初に見た今年の3月の卒業生の**進路実績の素晴らしさに、私は心底驚きました。**

合格数（指定校推薦合格者も含む）を前任校と比べると、右上表のように、国公立大の合格数こそそれほど変わりませんが、早慶上理の数やGMARCHの数が圧倒的に違いますよね。これには本当に驚きました。

3月に卒業した先輩達の受験と合格の実人数についても調べてみたのですが（下表）、早慶上理の**26**という合格数は、**18人**の先輩がかせいだ数だということが分かると思います。GMARCHについては、受験した人の半分以上が合格していて、**84人**ですから7クラス中2クラス以上の人が合格したということになります。高校入試時は前任校とそんなに違わなかったのに、これだけ上位校

	国公立	早慶上理	GMARCH	日東駒専
井草	14	26	187	131
前任校	12	3	96	163

卒業生269人中	受験者実人数	合格者実人数	合格率
国公立	31	14	45.2%
早慶上理	55	18	32.7%
GMARCH	164	84	51.2%
成成武國明※	81	52	64.2%
日東駒専	104	86	82.7%

※…成蹊、成城、武蔵、國學院、明治学院

の合格数を伸ばせるなんて、井草生の持つ潜在能力や可能性に本当に驚きます！皆さんの中には、まだ自分でも実感していない可能性が、きっとあります。自分の可能性を、誰よりも自分が信じて、自分のために誰よりも一生懸命になりましょう！自らの可能性のためにがんばる姿も、井草の魅力の一つなのです。

●1年生・2年生の皆さん、自分の進路選択こそ、しっかり考えましょう！

<1年生>

私は物理の教員なので、理系の立場から言わせてもらえば、世の中には理系に向いている人とそうでない人がいると思います。理系に不向きな人が2年で理系を選択して、非常に厳しい状況になっていく（3年で文転せざるを得なくなる、合格できる大学がなくなる等）という例を、私はこれまでにイヤというほど見てきました。理系科目は学年を追うに従って難しくなっていきます。「今はちょっと苦手だけれど、2年生になったらがんばるから大丈夫」という考えは、ほとんど大丈夫ではありません。数学に苦手感がある人、理科の基礎科目の成績が芳しくない人は、2年生以降の数学や理科で苦しむ確率がかなり高くなるので、慎重に考えましょう。理系の方が就職に有利だからと考える人もいるかもしれませんが、大学生の就職は就活（就職活動）によって決まるので、それほど差はありませんし、成績が低迷する理系大学生の就職が有利なわけがないのです。

憧れと適性とは別の話です。大学の4年間は、楽しい、やりがいのある4年間でなければいけません。苦行のような4年間にならないように、理系に進むかどうかだけはしっかり判断しましょう。

<2年生>

3年生の選択科目は、自分の志望校の受験科目をもとに考えます。ただ、昨今の大学入試制度は非常に多様化していて、受験科目として選べる科目の幅も広く、判断に迷う場合もあります。その際に、まず見るべきなのは「前期日程」「A日程」などと呼ばれる、一番募集人数の多い入試方式です。これが、その学科の一番主要な入試方式となります。それから、共通テスト利用型の科目も参考として見ておきましょう。こちらは、科目の種類も多くなりがちですが、来年の共通テストの出願に備えて、参考として見ておきましょう。※ベネッセの「マナビジョン」や旺文社の「パスナビ」というサイトが、大学の受験科目を調べるのに便利ですので活用してください。

この科目をやれば、自分の志望校の受験は全て対応できるという科目の組み合わせが分かったら、それに合わせて選択科目を決めていくわけですが、ここで注意したいのは、受験に必要なだからといって、全ての科目をとると、負担が重くなりすぎる場合もあるということです。別に、選択科目としてとらなくても、自分で勉強できるなら、無理して選択科目をとらなくても良いのです。また、大学入試では、満点を取る必要はなく、総合点が合格ラインを超えていれば合格となるので、ダメな科目を他の科目でカバーできそうなら、ダメな科目に時間をかけるより、他の科目に時間をかけた方が良いことだってあります。科目ごとの軽重を見極めて、授業を受けるのか、自分でやるのかを判断することも大切です。

●3年生の皆さん、自分で描いた目標を、心にしっかり描けていますか？

3年生の皆さん、しっかり生活できていますか？

受験勉強が本格的になってきて、心のしんどさも少しずつ高まってきているのではないのでしょうか？しんどさが辛すぎると思った時は、どうぞしんどさを吐き出しに進路室まで来てくださいね。

さて、この時期まず大切なのは、体の調子を維持できるように、生活リズムを正しく保つことです。心がしんどい上に体までしんどくなってしまうたら、効果的な受験対策などできません。大学入試の試験は9時～10時に始まることが多く、脳の働きがMAXになるのは起きてから3～4時間後ということですから、朝ちゃんと起きる習慣を身につけないと、脳のピーキングがうまくいかなくなります。夜更かしをして、授業中寝ているなんていうのは、まったくダメなのです。また、受験のストレスで食生活が乱れて太ってしまう人もけっこういるものです。食生活が崩れてしまうと、体調的なストレスも増えるので、保護者の方とも相談しながら、食生活についてもうまくコントロールしていきましょう。

で、このように、「生活リズムは良好かな？」「食生活は大丈夫かな？」と自分のことを俯瞰的に見ることも、実は、不安を軽減するのに有効なのです。不安に頭までどっぷり浸かってしまうと、不安の原因となっている部分を改善したり、不安を前向きなモチベーションに変えていくことなどができなくなってしまうものです。不安と適度に距離をとって、客観的に自分を評価するためにも、自分を俯瞰して、ここをこうした方が良いかな？と考えることが、この時期、けっこう大切なのです。

それから、模試の判定が気になる時期ですが、判定は無視して大丈夫です。むしろ、できた部分には「これはできる！」と自信を持ち、間違った部分は、考え方や知識などを修正して「これも大丈夫！」としていくことの方が大切です。入試の本番は年明けです。今の判定より、本番までの伸びの方が遙かに大切なのです。

最後に一つ。大きめの紙に、自分の第一志望の大学の写真を貼ったり、大学でやろうと思っていることや、第一志望校への愛の言葉などを、カラフルに、見ているだけでワクワクするようにデザインして描いて、目につく所に貼りましょう。そうすると、それが視界に入るたびに自分の決意や夢が潜在意識にすり込まれて、描いたことが実現するそうです。モチベーションが下がった時に、それを見るだけでガッツが出ますし、何よりも、見てワクワクしている瞬間は、不安も忘れられますしね。ぜひやってみてください。